

北上	(63) 3327	えさし	(35) 2035	平泉	(46) 2508	大原	(72) 2309	遠野	(62) 2524
コ内	(69) 2228	金ヶ崎	(42) 2205	花泉	(82) 5200	興田	(34) 5665	上郷	(65) 2848
っが	(72) 3135	前沢	(56) 8222	川崎弥栄	(34) 9300	千厩	(52) 2053	宮守	(67) 2213
こしわが	(62) 7250	一関	(23) 3323	東山	(34) 4550	室根	(64) 3290	鯉沢	(66) 2129
く沢	(24) 1156	山目	(25) 5776	摺沢	(34) 5250	藤沢	(63) 2616		

植樹祭 エールのたすき

一関市のランニング愛好者
でつくる「一関楽走会（佐藤東
会長）は1日、本県で49年ぶ
りに開催される第73回全国植
樹祭（4日）を盛り上げよう
と応援伝を行った。青空の
下、一関から会場の陸前高田
市まで61・5キロを走り、植樹
祭の成功に向け機運を高め
た。

一関楽走会

一関楽走会の会員や大船渡
アスリートクラブ会員などが
参加。午前8時に第一走者が
一関市役所前をスタート。じ
りじりと日差しが照りつけ
る中、メイン走者と仲間らが
国道343号を快調に進ん
だ。

「頑張れ」と声援を受けな
がら「全国植樹祭2023い
わて」と書かれたたすきをつ
なぎ、1区間約5キロで継走し
た。陸前高田市に入り、午後
3時ごろ、ゴールの東日本大
震災津波伝承館が近づくこと大
船渡走友会のメンバーらも合
流。互いに健闘をたたえなが
ら笑顔でゴールした。

会場・陸前高田まで駅伝 61.5キロ、力合わせ完走

大船渡市末崎町の永井功き
ん（74）は「爽やかな風が吹く
中、仲間と共に走れて良かつ
た」と充実の表情を見せ、一
関市山目の団体職員小野寺
知夏さん（50）は「植樹祭にも
びったりな、緑あふれる大自
然の中を走って気持ちが良か
った」とうなずいた。

4月に企画。ルートの下見な
どを重ね、この日を迎えた。
佐藤会長（73）は「新型コロナ
ウイルス禍で活動が制限され
ていたため、みんな張り切っ
て臨んだ。無事完走もできた
し、本県で開かれる植樹祭の
成功も願っている」とほほ笑
んだ。

（佐々木杏里）



全国植樹祭の成功を願ってたすきをつなぐランナー